

令和 4 (2022)年度 『地理総合』 シラバス

		学校名	具志川高等学校	科・コース名	普通科	学年・クラス	1 年 1 ～ 6 組						
		教科名	地理歴史科	科目名 (単位数)	地理総合 (2 単位)	教科書・副教材	・『高等学校 新地理総合』(帝国書院) ・『新詳地理資料 COMPLETE2022』(帝国書院)	・『高等学校 新地理総合ノート』(帝国書院) ・『新詳高等地図』(帝国書院)					
科目目標(学力)・資質・能力	柱書	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。											
	知識及び技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。											
	思考力、判断力、表現力等	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。											
	学びに向かう力、人間性等	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。											
観点別評価の表記について		・学習改善(指導)に生かす評価【●】は、毎時間行うものであり年間指導計画には表記しない。・評定に用いる(記録に残す)評価は、【◎】＝ペーパーテストで見取る、【○】＝ワークシートなどのペーパーテスト以外で見取る ことを表す。											
評価について		(1) 評価は、①知識・技能 ②思考力・表現力・判断力 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点をもとに総合的に行う。 (2) 評価の仕方について ① 1 学期・2 学期は、3 観点をそれぞれA・B・Cで評価する。 (得点率) (評価) 65%≦(得点率)≦100% …………… A (十分に満足できる) 35%≦(得点率)<65% …………… B (おおむね満足できる) 0%≦(得点率)<35% …………… C (努力を要する) ②学年末は、1 ～ 3 学期の観点別評価の平均値を、評価配分に基づいて100点法に換換し、以下のように5段階法で行う。□ 80～100点 … 5 65～79点 … 4 50～64点 … 3 35～49点 … 2 0～34点 … 1 (単位保留) ③地理総合の評価配分は、次の通りとする。 知識・技能 : 思考力・表現力・判断力 : 主体的に学習に取り組む態度 → 5 : 3 : 2											
学期	月	大項目 編	中項目 章	単元名 節	F Q (単元を貫く問い)	小単元名と考查の位置づけ	MQ (本時の問い)			評価の観点 知 恵 態	時数		
一学期の評価	4	第 1 部 地 図 で と ら え る 現 代 世 界	第 1 章 地 図 シ ス テ ム と 地 理 情 報	1 節 地球上の位置と時差	地球上の位置は緯度や経度で表すことができる。地球上の位置の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。また、時差は私たちの生活とどのように結び付いているのだろうか。	1 地球上の位置と私たちの生活	緯度の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。			◎	1		
						2 時差と私たちの生活	時刻の違い(時差)は、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。						
				2 節 地図の役割と種類	私たちの身の回りには、さまざまな地図があふれている。地図や地理情報システムにはどのような役割や種類があるのだろうか。また、私たちの生活にどのように役立っているのだろうか。	1 地球儀と地図	なぜ地図にはさまざまな図法があるのだろうか。			◎	1		
						2 身の回りの地図	主題図と一般図には、それぞれどのような表現方法や用途があるのだろうか。						
						3 統計地図の種類と利用	統計地図にはどのような種類があり、どのように使い分けられているのだろうか。			◎ ○	1		
						4 地理情報システム (GIS) の利用	地理情報システム(GIS)は、どのように活用されているのだろうか。						
			5	現 結 代 び 世 界 を 深 め る	第 2 章	1 節 現代世界の国家と領域	世界にはさまざまな国家がある。国家の領域や国境はどのように定まっているのだろうか。また、日本の位置や領域にはどのような特徴があるのだろうか。	1 現代世界の国家	国家の領域や国境にはどのような決まりがあるのだろうか。			◎	1
								2 日本の位置や領域	日本の位置や領域、排他的経済水域にはどのような特徴があるのだろうか。				
								1 国家間の結び付き	世界の国々の結び付きは、時代とともにどのように変化してきたのだろうか。			◎	1
								2 貿易によって結び付く世界	世界の国々で行われている貿易には、どのような特徴や課題があるのだろうか。				
	3 さまざまな交通網の発達							私たちの生活を支える交通網は、どのように発達してきたのだろうか。					
	4 世界を結ぶ通信網の発達							通信網の発達により、私たちの生活はどのように変化しているのだろうか。					
	6				1 節 世界の地形と人々の生活	地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこうした地形とどのようにに関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。	5 観光のグローバル化	グローバル化によって、観光はどのように変化したのだろうか。			◎ ○ ○	1	
							1 生活文化を考察する方法	世界各地の多様な生活文化を考察するには、どのような方法があるのだろうか。					
							1 大地形と人々の生活	大地形は、人々の生活とどのようにに関わり合っているのだろうか。					
							2 変動帯と人々の生活	変動帯の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。					
							3 安定地域の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。						
							4 河川がつくる地形と人々の生活	河川がつくる地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。					
5 海岸の地形と人々の生活		海岸がつくる地形には、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。											
6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活		氷河・乾燥・カルスト地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。											
【一学期期末考查】						◎	◎	◎	1				
	2 節 世界の気候と人々の生活	気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なる。人々の生活はそれぞれの気候要素とどのようにに関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。	1 気温・降水と人々の生活	気温や降水は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。			◎	1					
			2 大気循環と人々の生活	風は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。									
			3 世界の植生と気候区分	世界の植生は、気候とどのようにに関わり合っているのだろうか。									
			4 熱帯の生活	熱帯の気候と植生は、人々の生活とどのようにに関わり合っているのだろうか。									
			5 乾燥帯の生活	乾燥帯の気候と植生は、人々の生活とどのようにに関わり合っているのだろうか。									
			6 温帯の生活	温帯の気候と植生は、人々の生活とどのようにに関わり合っているのだろうか。									

二学期の評価	7	第1章 生活文化の多様性と国際理解			7 亜寒帯・寒帯の生活	亜寒帯・寒帯の気候と植生は、人々の生活とどのようにに関わり合っているのだろうか。	㊦			1
			【追究事例】自然 モンスーンの影響を受ける 地域での生活-東南アジア	東南アジアは、季節風(モンスーン)の影響を強く受けてきた地域である。このような気候を生かして、東南アジアではどのような生活文化が育まれてきたのだろうか。	1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活	季節風(モンスーン)は、東南アジアの人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦	○	○	1
			3節 世界の言語・宗教と人々の生活	世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されている。言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	2 気候を生かした農業と人々の生活	東南アジアでは、気候を生かしてどのような農業が発達してきたのだろうか。	㊦	○	○	1
			【追究事例】宗教 イスラームと人々の生活の 関わりー中央アジア・西アジア・北アフリカー	中央アジアから北アフリカにかけての地域では、イスラームを信仰する人々が多い。この地域の生活文化は、宗教からどのような影響を受けているのだろうか。	1 世界の言語と人々の生活文化	言語は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦			1
			4節 歴史的背景と人々の生活	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきた。このような歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのだろうか。	2 世界の宗教と人々の生活文化	宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦			1
			【追究事例】歴史 移民の歴史と人々の生活の 関わりーラテンアメリカー	ラテンアメリカには、さまざまな地域の人々が移り住んできた。多様な文化の融合によって、どのような生活文化が形成されてきたのだろうか。	1 イスラームを中心とした生活文化	イスラームは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦	○	○	1
			5節 世界の産業と人々の生活	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきた。産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。また、産業のグローバル化によって、人々の生活はどのように変化してきたのだろうか。	2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化	乾燥地域で暮らすムスリムは、どのような生活文化を育んできたのだろうか。	㊦	○	○	1
			【追究事例】産業 地域統合が人々の生活や産業に与える影響-ヨーロッパ-	ヨーロッパでは、二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合が進められている。EUの統合によって、ヨーロッパの人々の生活文化はどのように変化してきたのだろうか。	3 変化するムスリムの生活	国の経済が発展するなかで、ムスリムの生活はどのように変化しているのだろうか。	㊦	○	○	1
					1 歴史的背景が人々の生活に与える影響	さまざまな歴史的背景は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。	㊦			1
					1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化	さまざまな民族の流入は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦	○	○	1
10	第2部 国際理解と国際協力	第2章 地球の課題と国際協力			2 大土地所有制が生み出した社会構造	ヨーロッパから持ち込まれた大土地所有制によって、どのような社会が生まれたのだろうか。	㊦	○	○	1
					3 外国資本による工業化と生活の変化	外国資本による工業化は、人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。	㊦	○	○	1
					1 人々の生活を支える農業の発展	農業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦			1
					2 人々の生活を支える工業の発展	工業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦			1
					3 グローバル化する現代の産業と人々の生活	産業のグローバル化は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦			1
					1 EU統合と人々の生活	ヨーロッパの国々が、国境を越えた結び付きを強めているのはなぜだろうか。	㊦	○	○	1
					2 EU統合による農業への影響	EUの統合は、ヨーロッパの農業にどのような影響を与えているのだろうか。	㊦	○	○	1
					3 EU統合による工業や社会への影響	EUの統合は、ヨーロッパの工業や社会にどのような影響を与えたのだろうか。	㊦	○	○	1
					(二学期中間考査)		㊦	㊦	㊦	1
			1節 複雑に絡み合う地球の課題	現代世界には、さまざまな地球の課題が存在する。これらの課題の背景には何があるのだろうか。また、課題の解決に向けて、私たちに何ができるのだろうか。	1 相互に関連する地球の課題とその解決に向けて	地球的課題の解決に向けて、どのような取り組みが行われているのだろうか。	㊦	○		1
11			2節 地球環境問題	私たちが住む地球の各地では、人間の経済活動などにより、さまざまな地球環境問題が生じている。世界ではどのような地球環境問題がみられ、どのような取り組みが行われているのだろうか。	1 多様な地球環境問題	地球環境問題にはどのような種類があり、どのような原因で発生するのだろうか。	㊦			1
					2 熱帯林の破壊への対策	熱帯林の破壊は、どこで、どのような理由で進行しているのだろうか。	㊦	○		1
					3 地球温暖化への対策	地球温暖化はなぜ起こり、環境にどのような影響を及ぼすのだろうか。	㊦	○	○	1
			3節 資源・エネルギー問題	私たちが日常生活を営むうえで、資源やエネルギーは欠かせない。世界の資源やエネルギーの利用にはどのような課題があるのだろうか。また、持続可能なエネルギーの利用方法とは、どのようなものだろうか。	1 世界のエネルギー・鉱産資源	エネルギー資源や鉱産資源は、どのように利用されているのだろうか。	㊦			1
					2 エネルギー利用の現状と課題	エネルギーの利用にはどのような課題があり、どのように解決したらよいのだろうか。	㊦	○		1
					3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み	各地のエネルギー問題への取り組みには、どのような特徴があるのだろうか。	㊦	○		2
			4節 人口問題	世界の人口分布には偏りがあり、人口増加の傾向や人口構成も、国や地域によって異なっている。世界には、国や地域によってどのような人口問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。	1 世界の人口	世界の人口分布や人口増加には、どのような傾向がみられるのだろうか。	㊦			1
					2 発展途上国と先進国の人口問題	発展途上国と先進国の人口問題には、どのような違いがあるのだろうか。	㊦	○		1
					3 地域で異なる人口問題への取り組み	人口問題への取り組みは、インドとフランスでどのように異なるのだろうか。	㊦	○		1
					(二学期期末考査)		㊦	㊦	㊦	1
12			5節 食料問題	世界には飢餓に苦しむ人がいる一方で、飽食が問題になっている国もある。このような食料需給の偏りが生じるのはなぜだろうか。また、食料問題を解決するためには、どのような取り組みが必要だろうか。	1 飢餓と飽食	飢餓や飽食は、どのような問題なのだろうか。また、なぜ発生するのだろうか。	㊦			1
					2 地域で異なる食料問題への取り組み	食料問題への取り組みは、地域によってどのような違いがあるのだろうか。	㊦	○	○	2
			6節 都市・居住問題	世界にはさまざまな規模の都市があり、近年は、世界の各地域で都市人口が急増している。世界には、国や地域によってどのような都市・居住問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。	1 世界の都市の発展	世界の都市の発達や大都市の分布には、どのような傾向があるのだろうか。	㊦			1
					2 発展途上国と先進国の都市・居住問題	発展途上国と先進国の都市・居住問題には、どのような違いがあるのだろうか。	㊦	○		1
					3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み	都市・居住問題への取り組みは、メキシコシティとボートランドでどのように異なるのだろうか。	㊦	○		1
			1節 日本の自然環境	世界や日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結び付いている。日本の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか。	1 日本の地形	日本の地形にはどのような特徴があり、どのようにして形成されたのだろうか。	㊦	○		1
					2 日本の気候	日本の気候にはどのような特徴があり、地域差はどのようにして生じているのだろうか。				
			2節 地震・津波と防災	変動帯に位置する日本は、数多くの地震によってさまざまな被害を受けてきた。地震や津波は、どのような被害をもたらすのだろうか。また、地震や津波の発生に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。	1 地震・津波による災害	地震・津波による被害は、地域によってどのような違いが生じるのだろうか。	㊦			1
					2 地震・津波の被災地の取り組み	地震・津波に対して、どのような防災・減災の取り組みが行われているのだろうか。	㊦	○		1
1	第3	第1								

三 学 期 の 評 価	2	部 持 続 可 能 な 地 域 づ く り と 私 た ち	1 章 自 然 環 境 と 防 災	3節 火山災害と防災	火山の多い日本では、火山からさまざまな恵みを受けるとともに、噴火によって多大な被害を受けてきた。火山はどのような恵みや災害をもたらすのだろうか。また、火山災害に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。	1 火山の恵みと災害	火山は、人々の生活にどのような恵みや災害をもたらすのだろうか。	◎			1		
						2 火山と共生する地域の取り組み	火山と共生していくためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。	◎	○		1		
				4節 気象災害と防災	日本では毎年のように気象災害が発生している。これらの気象災害にはどのような種類があり、どのような被害をもたらすのだろうか。また、気象災害に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。	1 ささまざまな気象災害	気象災害は、場所によってどのような違いがあるのだろうか。	◎			1		
						2 気象災害への取り組み	気象災害に対して、どのような取り組みや課題がみられるのだろうか。	◎	○		1		
						【学年末考查】		◎	◎	◎	1		
				5節 自然災害への備え	日頃から自然災害に備えることで、被害を軽減することができる。自然災害への日頃の備えには、どのようなものがあるのだろうか。また、災害発生時の危機管理体制は、どのように整備されているのだろうか。	1 減災の取り組み	自然災害の被害を減らすためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。		○	○	1		
						2 被災地への支援	自然災害の被災地には、どのような支援が必要なのだろうか。		○	○	2		
				3	園 第 2 の 調 査 展 望 と 生 地 活	1節 生活圏の調査と地域の展望	私たちの生活圏には、多岐にわたる地理的な課題がみられる。生活圏が抱える課題を探究するためには、どのような方法で地域の特徴をとらえ、どのように課題解決のための展望を見いだしていけばよいのだろうか。	1 地理的な課題と地域調査	生活圏の地理的な課題を探究するためには、どのように調査を始めればよいのだろうか。		○	○	1
								2 現地調査の準備	現地調査の前には、どのように事前調査や調査計画の作成を行えばよいのだろうか。		○		1
								3 現地調査の実施	現地調査を効率的に行うには、どのような準備や行動が必要だろうか。		○		1
	4 調査の分析と発表	調査結果をまとめて発表する際には、どのような工夫をしたらよいのだろうか。						○	○	1			